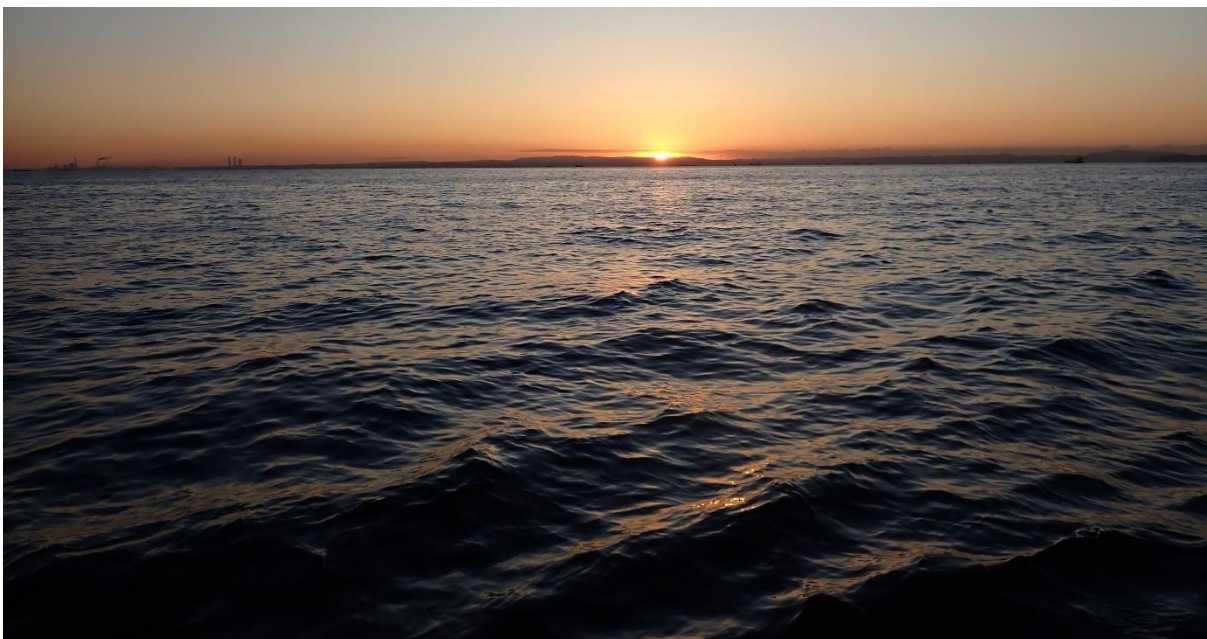
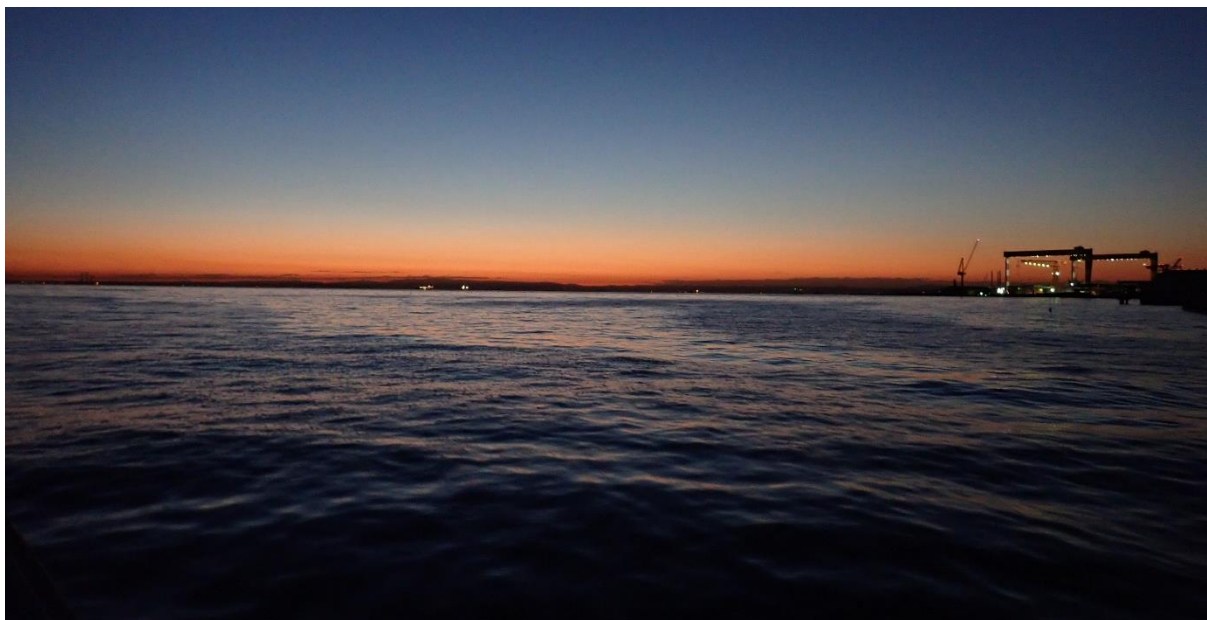


東京湾（神奈川県側）のお魚さんたちⅣ  
—底曳網漁船の漁獲物—

活き活き東京湾研究会 大野幸正

2010年10月、2016年1月、2023年1月に引き続き、神奈川県側4回目の底曳網漁船の漁獲状況の報告です。1年前の状況とあまり変わらない漁獲で、豊かな海と言えるような状況ではありませんでした。

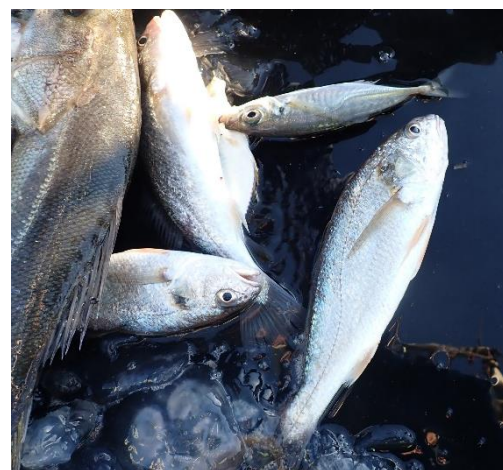
多くの底曳網漁船が狙うタチウオ（浮き魚）は今年も獲れているようですが、今回のヒラメ・クルマエビ・スマイカ狙いの網では、かつてたくさん獲れた頃に較べれば漁獲量は激減、主な漁獲対象であったシャコ、マコガレイは皆無といってよい状況でした。出漁したのは2024年1月、漁場は横浜市金沢地先海域です。



【漁獲物（市場出荷）】

市場に出荷する漁獲魚種は、ヒラメ、スズキ、クロダイ、マゴチ、スミイカ（コウイカ類）、オコゼ、フグ、クルマエビ、マアナゴ、シログチ、マアジ等です。

以降、東京湾の魚介類の状況を写真にて報告します。



【漁獲物（網揚げ時点①）】

網に入った魚介類、おいしそうですが市場で買い上げてくれなければ、自家利用です。



【漁獲物（網揚げ時点②）】

ヒトデが多くて、エイの類も多い、これらと出荷サイズに満たないヒラメ等を海に戻します。



【漁獲物（網揚げ時点③）】

かつて有名であった「小柴のシャコ」、いません。



【出現種いろいろ】

シャコは、見たのは小さな 1 個体だけ。



【新鮮な魚介類を楽しむ】

自家利用の魚介類、さばいておいしく頂きました

